

骨密度検査のご案内

【骨密度検査とは】

骨密度検査とは、骨に含まれるカルシウムなどのミネラルの量を測ることで、骨の強度を調べる検査です。骨密度が低下した状態になると、骨折しやすくなります。脊椎がつぶれたり、変形したりすると背中の痛みも現れ、骨折は寝たきりの原因にもなります。定期的に骨密度を測り、骨折の予防をしましょう。

【検査装置の紹介】

当院の骨密度測定装置 PRODIGY-Primo (GE ヘルスケア・ジャパン) は、DEXA 法という二重エネルギーX線を使用した装置です。DEXA 法は、精度が高く、少量のX線で測定ができます。

※検査時間も短く、5分程度です。

※測定部位は、主に腰椎・股関節で行います。



【検査の注意点】

*計測範囲に、金属・プラスチック・湿布・カイロなどがあつたり、胃の検査でバリウムを飲んだりしていると、診断の妨げになるので、ご注意ください。

*腰椎や股関節に金属が入っている場合は、お知らせください。

【測定結果】

骨密度が高い若年成人の骨密度の平均値を100%で表し、比較した数値で判定します。

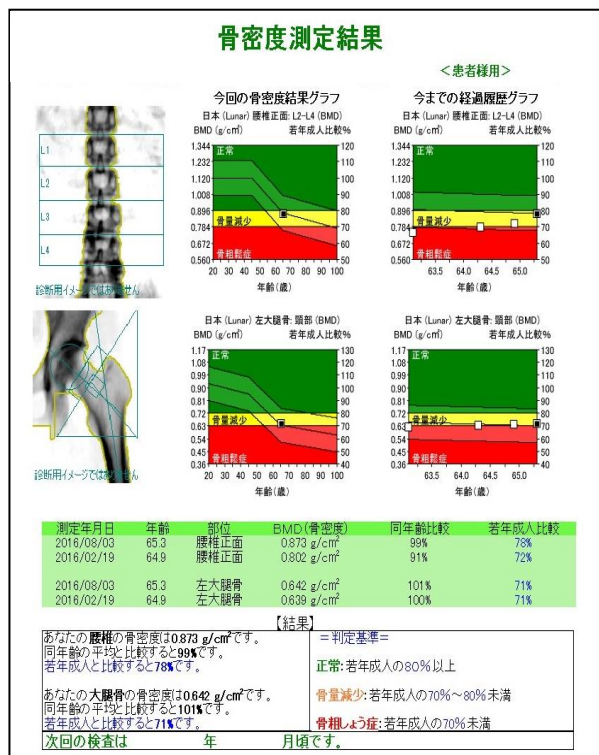
【判断基準】

正常：若年成人の80%以上

骨量減少：若年成人の70%~80%

骨粗鬆症：若年成人の70%未満

*人間ドックのオプションで検査可能です。



JR 広島病院 放射線科

2017.3作成

医療法人 JR 広島病院

MEDICAL CORPORATION JR HIROSHIMA HOSPITAL